



いなほ

稻積神社社報
第3号

平成7年5月3日発行



阪神淡路大震災により被災なされた多くの皆様に心より御見舞
い申し上げ、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。



祭りと祈り

稻積神社
楠宜根津泰昇

古来より豊草原瑞穂国の我国は稲穂の稔りに恵まれた国を理想とする農耕社会であります。

稻積神社のご祭神は宇迦之御魂大神・大宮能売大神様で、五穀豊穂を司どり、食物の守護神であり、私達が営むすべての産業の守護神であります。私達の生命の根源であります食事は、大神様のお恵みによるものであり、神様のご加護がなければ生命を保つことはできないのです。正ノ木祭りは、このご加護に感謝し、毎日の生活が潤いある生活になるよう祈る祭りであります。

本居宣長の詠んだ歌に

朝よひに物喰ふごとに豊宇受の

神のめぐみを思へ世の人

私達が毎日毎日食事がとれるることは、まさに神様より賜わったものですから、このご恩を思い、感謝の気持を忘れてはいけないと教えております。

神に感謝の気持を祈ることによって、人間は希望が生まれ努力しなければならないという気持ちが起り、精神に新たな活力が生まれます。

信仰は、祈りと感謝が表裏一体となつたものです。“正ノ木祭”も祈りと感謝の心が基本となつて奉仕されています。私達は祭りの基本を古より受継ぎ子孫へ伝え、日本文化の継承の一役になりたいものです。

明治天皇御製

とこしえに國守ります天地の
神のまつりをおろそかにすな

初詣

例年に増
す人出

今年は三が日好天に恵まれ
昨年より多い参拝者で賑わ
ました。

大晦日のうちから午前零時の号鼓とともに、我一番にと参拝に来られる方々も少なくありません。

最近は若い世代のおまいりが目立つてふえています。

稻積神社の神様の御加護を少しでもいただきたいという人々の波が正月中に続きました。

針供養

事始めの願いこめて

一月八日は事始め、針供養

の日。

さる一月八日、当神社針供

塔の御前で山梨県和服裁縫組

合、日本和裁士会山梨支部主

催による、第二十九回の針供

養祭が行なわれた。

針供養は江戸時代から行な

われていたといわれ、事納め

の十二月八日に行なわれてい
たが今では一部の地方をのぞ
いてほとんどが二月八日の事
始めに行なっている。

針供養祭は、県内では当神

社だけとあって当日は県内、

参拝に来られる方々も少なく
ありません。

最近は若い世代のおまいり
が目立つてふえています。

稻積神社の神様の御加護を少
しでもいただきたいという人々
の波が正月中に続きました。

事始めの願いこめて

音戯の会 清水節子

私たち「音戯の会」は、甲府の南地区で音楽による地域づくりをしてみよう、昨年十月に県民生活課の事業の一つである「地域づくり実験工房」の後押しで誕生した。主婦中心のグループです。

既成のコンサート会場にこだわらず、地域になじみのあるいろいろな場所でそれぞれの音を聴いてみようと、自転車での会場探しウォッচングからスタートしました。

幸い、稻積神社さんに心良く引き受けさせていただき、記念すべき第一回コンサートは参集殿で行なうことができました。

クラリネット山口夏彦さん

ピアノ向山幸子さんの演奏で

テーマは「なぜ長い、なぜ眠

い、クラシックの謎」でした。

今年若者達の間で、すっか

りトレンドィーとなったスキ

ですが、今まで個人的な趣味

として余暇を利用して滑つて

いた私は、体力の衰えと共に

スキーに対しマンネリ化を抱

いておりました。そこに五年

いただきコンサートの準備も

樂にできました。又、演奏者にも好評でした。

稻積神社崇敬青年会のスキーツアーを行なうに当たり、

この際、スキーブを発足して

道青年全国協議会のメンバ

約五百人が三月七日八日の両

日、倒壊したままになつてい

る神社の建物の片づけを行なつ

て頂いております。

私自身初めての経験でもあ

り諸先輩方の御指導を戴きな

がらおかげさまで毎年事故も

なく今に至つております。

当初からの参加の子供達の

上達したスキーを見るにつけ

思考錯誤でここまでたどりつ

けた事に喜びを

感じて次第です。

単にレクリエーションの一

巻としてではなく、普段接す

ることの出来ない大自然の中

で、自由にのびのびと汗をか

く喜びを感じたり、親子のコ

ミュニケーションの場として

スキーの楽しさに触れるこ

とのできる場として有効に活用

して頂けたら幸いと存じま

した。

近年若者達の間で、すっか

り感謝すると共に、これから

もこの会が発展いたしますよ

う微力ながら全力を尽くす所

存であります。

山梨県からも13名の青年神

職が参加し当神社からは秋山

権宜が職員を代表して参加

した。

又、この活動を支援すべく

根津宮司様を始め稻積神社

宜様、山梨県氏子青年協議会

(会長佐藤久良)、稻積神社

崇敬青年会(会長樋川久)

稲積神社ソフト部(監督白倉

隆)より山梨県神道青年会に

活動支援金が送られた。

被災地の一日も早い復旧復

興を心よりお祈り申し上げま



スキーツアーオ開催

崇敬青年会では、平成七年

二月十九日(日)雪質及び天候に

も恵まれ、参加者総勢五十名

余りで長野県白樺2in1へ毎

年恒例となりましたスキーツ

アーオ企画し無事終了致しま

した。

近年若者達の間で、すっか

り感謝すると共に、これから

もこの会が発展いたしますよ

う微力ながら全力を尽くす所

存であります。

崇敬青年会スキーチ

部長 松田 裕



例大祭式次第

(修祓)

宮司一拝

宮司御扉を開く

神饌を供す

宮司神前に祝詞を奏す

玉串拝礼

宮司遷御の祝詞を奏す

遷御

宮司発御の祝詞を奏す

宮司一拝

宮司遷御の祝詞を奏す

発御

平成七年度正の木 例大祭神賑行事(予定)

五月三日(水)
 献木祭 午前十時
 甲府商工会議所(境内)
 前夜祭 午後六時(社殿)
 演芸 午後七時(舞台)
 神輿渡御 午前十一時

午後四時

甲府囃子

午後一時 午後二時

カラオケ大会

午後六時～午後九時

五月四日(木)

演芸・雅楽 終日(舞台)

コンサート

終了祭 午後六時(社殿)

行程

10月29日(日)	甲府	中央道・長野道	野尻湖	上越	北陸道
		12:00	金沢(昼食)	千里浜ドライブウェイ	能登金剛—和倉温泉
10月30日(月)	和食温泉	輪島朝市	能登有料	ゆのくにの森(昼食)	
		8:30 9:30	12:30	15:30	16:00
10月31日(火)	金沢	北陸道	兼六園	尾山神社	金沢市内
		13:00	飛騨合掌ライン	合掌村	
		19:30	高山(昼食～散策)	中津川	中央道—甲府

甲府伊勢講ごあんない

秋の北陸路 2泊3日の旅

人の動き

就任

四月一日

責任役員

小尾和男氏



当神社責任役員小尾様が山梨県総代会副会長並甲府市総代会副会長に選任されました。

退任

三月三十一日

総代



当神社総代の荻野様が三月三十一日をもって山梨県神社庁甲府市総代会副会長を退任されました。

神社界発展のために尽力されました。

再任

四月一日

総代



当神社総代塩島様が山梨県神社庁甲府市総代会監事に再任されました。

稻積神社 写真コンテスト

稻積神社の一年を通じての写真の募集です。

稻積神社には正の木祭を始め四季を通じて様々な祭・風景があります。その折々に触れての神社の顔を募集いたします。

締切 平成八年二月末日

詳細につきましては社務所までお問合せ下さい。

参拝の作法 神拝詞板・奉納

月日とともに黒づみ文字が読みにくくなっていた作法板

を、甲府市湯村の岸本和子様により奉納された。

白木の板にくっきりと参拝の作法と神拝詞が書かれた板を前に清潔い気持で御参拝いただけると思います。